

履修関係の説明

前期授業開始日	5月7日(火)
前期履修登録期間	4月8日(水)～5月13日(水)
前期履修登録修正期間	5月14日(木)～5月22日(金)
前期履修登録科目削除期間	
(第1Q科目)修正期間後	～ 5月29日(金)まで
(セメスター科目)修正期間後	～ 6月12日(金)まで
(第2Q科目)修正期間後	～ 7月20日(月)まで

集中講義科目は別途期間設定

大学院係HP, 学内掲示版でお知らせします。

※ 授業開始日、履修登録期間等は状況により今後
変更されることがあります。

大学院係HP等で確認してください。

履修登録1

- 履修科目は、自身の主指導教員と相談し、その指導と承認を受けて決定してください。
- 履修登録上限単位数は各学期、16単位以内です。
※ただし、講究、特別実験及び演習、集中講義は除く
- 履修登録は、教務情報システムを使用して行ってください。
博士後期課程の学生は、履修登録用紙を使用して大学院係に提出してください。

履修登録2

- 集中講義科目は，大学院係窓口で行ってください。
所定の用紙があります。
- 講究，特別実験及び演習，特別講究の履修登録は
不要です。
- 時間割の変更に注意してください。
変更は随時，学内掲示板と大学院係HPで周知します。
毎日必ず確認をしてください。

教務情報システム

- 履修登録，単位修得確認等を行うシステムです。
- 使用方法は，九工大IDを使用して、ライブキャンパスポータルシステムにログイン後、画面上部にある「ダウンロード」タブからマニュアルを入手してください。

ライブキャンパスポータルシステムは、下記アドレスを参照。

<https://virginia.jimu.kyutech.ac.jp/>

クォーター制について

- 一部の科目を除いてクォーター制で実施しています。
※前期前半を第1クォーター，後半を第2クォーターとして
実施
- 後期も同様に前半を第3クォーター，後半を第4クォーターとして実施しています。
- クォーターの科目は，週2回開講します。

時間割について

- 学部合同開講科目(赤色)

※学部科目と合同開講します。

- 今年度非開講科目(青色)

※来年度は開講します。受講希望の方は来年度受講してください。

- 来年度非開講科目(紫色)

※来年度は開講しません。受講希望の方は今年度受講してください。

- 集中講義科目は、履修登録日程、講義日程を掲示板及び大学院係HPにて周知します。

シラバスについて

- 情報工学部HPに掲載しています。
<http://www.iizuka.kyutech.ac.jp/>
左側バナー「シラバス」から参照できます。

授業を受ける前に科目内容等の
確認をしてください。

学生便覧について

- 学年暦, 学習教育目標, 学則, 学修細則等の重要な情報を掲載しています。
- 学生生活のためのルールブックです。
- 学修に関するルールは修了まで変わりません。
※学生便覧は入学時しか配布しません。

特に履修基準については, 熟読のうえ必ず理解してください!
(49ページ～記載)

履修基準について1

(先端情報工学専攻)

情報科目を10単位以上を修得すること。

基礎科目・対象分野科目について

講究(2単位)を修得すること。

特別実験及び演習(6単位)を修得すること。

その他の科目(基礎科目と対象分野科目)から

2単位以上を修得すること。

修了要件単位30単位以上を修得すること。

履修基準について2

(学際情報工学専攻)

情報科目8単位以上を修得すること。

基礎科目・対象分野科目について

講究(2単位)をすること。

特別実験及び演習(6単位)を修得すること。

その他の科目から2単位以上を修得すること。

修了要件単位30単位以上を修得すること。

履修基準について3

(情報創成工学専攻)

情報科目6単位以上を修得すること。

基礎科目・対象分野科目

講究(2単位)を修得すること。

特別実験及び演習(6単位)を修得すること。

プロジェクト研究(8単位)を修得すること。

その他の科目から2単位以上を修得すること。

修了要件単位30単位以上を修得すること。

履修基準について4

(各専攻共通事項)

・基礎科目及び対象分野科目の「その他の科目」の2単位を超える単位については、他専攻の基礎科目、対象分野科目からも修得できます。

*必ず自専攻の基礎科目及び対象分野科目から2単位の修得が必要です。

履修基準について5

(各専攻共通事項)

- 非情報系学科出身の学生の履修すべきイミグランド科目は、当該学生の学部における学修経歴及び学府における研究計画を勘案して研究指導教員が指定します。
- イミグランド科目の単位のうち4単位までは、情報科目の履修基準10単位以上に含めることができます。
 - * 情報創成工学専攻は2単位までです。

履修基準について6

(博士前期課程各専攻共通事項)

- 「企業実習Ⅰ」～「(同)Ⅳ」, 「大学院海外研修Ⅰ」, 「大学院海外研修Ⅱ」, 「大学院海外インターンシップ実習Ⅰ」及び「大学院海外インターンシップ実習Ⅱ」, 8科目合計で7単位まで修了要件単位に含めることができます。
- 「英語ⅦA」, 「英語ⅦD」, 「英語ⅧB」, 「英語ⅧD」, 「英語ⅨB」, 「英語ⅨD」, 「英語ⅩA」, 「英語ⅩD」, 「選択英語1T」, 「選択英語2T」, 「選択英語3T」及び「選択英語4T」, の単位は, 12科目合計で2単位まで修了要件単位に含めることができます。

履修基準について7

- * (情報工学専攻)

- 情報工学実践セミナーⅢ (1単位)を修得すること。

- 特別講究 (6単位)を修得すること。

- その他の科目から3単位以上を修得すること。

- 修了要件単位10単位以上を修得すること。

- 学内進学者は博士前期課程在籍時に未修得の科目から修得すること。

履修基準について8

* (情報工学専攻)

「企業実習Ⅰ」～「(同)Ⅳ」, 「大学院海外研修Ⅰ」, 「大学院海外研修Ⅱ」, 「大学院海外インターンシップ実習Ⅰ」, 「大学院海外インターンシップ実習Ⅱ」, 「英語ⅦA」, 「英語ⅦD」, 「英語ⅧB」, 「英語ⅧD」, 「英語ⅨB」, 「英語ⅨD」, 「英語ⅩA」, 「英語ⅩD」, 「選択英語1T」, 「選択英語2T」, 「選択英語3T」及び「選択英語4T」, の単位は, 20科目合計で2単位まで修了要件単位に含めることができます。

履修基準について9

全専攻共通事項

- 「大学院海外研修Ⅰ」,「大学院海外研修Ⅱ」,「大学院海外インターンシップ実習Ⅰ」及び「大学院海外インターンシップ実習Ⅱ」の単位は,修了査定までに単位が与えられた場合のみ単位付与が認められます。

研究開発計画書について

- 教育及び研究指導の充実を目的として導入されています。
- 研究計画, 履修計画 → 主指導教員 + 副指導教員がアドバイスをします。
- きめの細かい指導が可能となっています。

詳細は主指導教員に確認してください。

入学前既修得単位の認定について

- 入学前に大学院の科目を修得している方は、情報工学府の修得単位として単位認定申請が可能です。
- 認定単位数の上限について
 - 博士前期課程 → 6単位まで
 - 博士後期課程 → 2単位まで

申請期限5月22日(金)17時!

詳細は学内掲示板，大学院係HPで確認をしてください。

学部と大学院の講義の相互乗り入れ

- 学部科目を履修できます。
- 指導教員，所属の大学院委員，科目担当教員の承認が必要です。
- 博士前期課程の学生のみ2単位まで修了要件単位として認定可能です。
- 学部在籍時に対応する学部科目を修得した科目は履修できません。

科目等の詳細は学内掲示板，大学院係HPで確認してください。

TOEIC受験について

- 修了までに1回はTOEICを受験するしてください。
- 試験種類
 - カレッジTOEIC-IP
 - TOEIC公開テスト
- 後援会加入者には、受験料の補助が有ります。
- 受験申し込みは生協で行ってください。
- スコアは日本学生支援機構奨学金返済免除候補者
学内選考に用います。

コース・モジュール制

- モジュールとは
特定の学習目的を教授するための数科目で構成されています。
 - コースとは
修了後のキャリアパスを意識した数モジュールで構成されています。
 - コース修了者には当該コースの修了証が授与されます。
 - コース履修届提出期限 5月1日(金)です。
- ※コース履修届提出期限は、今後変更されることがあります。大学院係HP等で確認してください。

詳細は学生便覧「コース・モジュール制」参照してください。

海外インターンシップについて

- 海外インターンシップ従事実績時間数により、「大学院海外インターンシップ実習Ⅰ」または、「大学院海外インターンシップ実習Ⅱ」の単位認定が可能です。
- 事前指導，報告会の参加が必要です。
- 履修登録は不要です。

事前指導，報告会の実施日は学内掲示板，大学院係HPでお知らせします。

海外研修について

・海外の大学，研究機関等で研究活動等に従事された方は，

「大学院海外研修Ⅰ～Ⅱ」

「グローバル情報学研究Ⅰ～Ⅳ」の単位認定が可能です。

詳細は大学院係にお尋ねください。

大学院国際協働演習

(基礎科目1単位)

本学では、グローバル化が加速する社会において、活躍し続けることのできる技術者(グローバル・エンジニア)に必要な要素をグローバル・コンピテンシー(GCE)として、それらの涵養を目指しています。

その方策のひとつとして、「留学生との協働学習」を掲げており、本授業では、本学留学生や海外からの短期訪問学生等とのグループワークなどの協働学習を行い、異文化理解の促進、国際的な視野の獲得のほか、国際的な環境下でのコミュニケーション力、協働学習力等の獲得や、研究遂行能力の向上を目指します。

本科目の詳細は、大学院係窓口でお尋ねください。

企業実習について

- インターンシップ従事実績により、単位修得可能です。
40時間の実習実施で1単位を認定します。
- ※ 「企業実習 I ~ IV」の単位認定
- 事前指導，報告会の参加が必要です。
- 履修登録は不要です。

事前指導，報告会の実施日は学内掲示板，大学院係HP等でお知らせします。

講義の都合等で事前指導等に参加できない場合は，大学院係にご相談ください。

情報工学実践セミナーについて

概要:

企業や研究の第一線をはじめとして社会で活躍する技術者・研究者・専門家等による講演を多様な分野で実施し、最先端の研究や、実社会の現場における開発・研究・危機管理・倫理, その他スキル等について幅広く学び, 実践的技術者として必要な資質を高めることを目的として開講しています。

本科目の対象となるセミナー等を, 別途掲示により周知します。

これらから計8回相当分のセミナー等の履修を以て, 単位認定を行います。

- 各セミナーの受講後, レポートの提出が必要です。
- 最高2単位まで修得が可能です。
- 博士後期課程学生は, 情報工学実践セミナーⅢ1単位が必修となっています。

**対象となる講演, セミナーは大学院係HP, 学内
掲示板でお知らせします。**

グローバルエンジニア養成コース

- 学部3年次にコース履修登録した方が対象です。
- 学生便覧の108ページを熟読して、本コースを修得してください。
- 履修をやめる場合は、「履修取下げ届」の提出が必要です。